

2003年6月17日
東日本旅客鉄道株式会社

非接触 IC カード「Suica」のセキュリティ評価認証取得について

JR 東日本の非接触 IC カード「Suica」は、2003年6月13日に英国の評価認証機関より、**情報セキュリティが「一般的に商用製品としては非常に高い基準に該当するレベル（EAL4；下記参照）である」と**の評価認証を取得しました。これは、650万人を超えるお客様にご利用いただいている「Suica」の信頼性が国際的にも証明されたこととなります。

1. 評価認証対象

Suica 定期券及び Suica イオカード

2. 評価認証を受けたセキュリティ評価基準及び評価保証レベル

情報セキュリティ評価基準を定めた国際規格 ISO/IEC15408 (日本国内では JIS X 5070 と同一)に基づき、評価・認証を受けました。

本規格は、情報システムやそれを構成する機器・ソフトウェアについて、セキュリティ機能が適切に設計され、その通りに実装されているかどうかを評価・認証することを定めています。

今回取得した評価保証レベルは「EAL4」です。

EAL とは、Evaluation Assurance Level の略であり、日本語では「評価保証レベル」となります。保証の信頼度を示し、EAL1 から EAL7 の7段階のレベルを定義しています。現状では、概ね商用製品やシステムが備えるべき保証レベルは EAL1 から EAL4 までであり、EAL5 以上は軍用あるいはそれに準ずる用途向きです。したがって、一般的に今回取得した EAL4 は商用製品としては非常に高い保証レベルであると言えます。

3. 認証機関

英国政府認証機関 CESG (Communications-Electronics Security Group)

日本国内では EAL4 を評価できる評価機関が存在しないため、今回、上記認証機関にて認証を取得しました。

以上